

No.41	社会科基礎力強化シート (消費者主権と消費者保護)	年 組
		氏名

/7問

次の () に当てはまる言葉をそれぞれ書きましょう。

- 1 消費者には、自分の意思と判断で適切な商品を選び出し、購入することができる権利がある。このことを (①) という。
- 2 商品を販売しながら会員を勧誘すると手数料が得られるとし、消費者を販売員にして、会員を増やしながら商品を販売していく悪質商法を (②) という。
- 3 注文していない商品を勝手に送りつけ、その人が断らなければ買ったものと見なして、代金を一方的に請求する悪質商法を (③) という。
- 4 2004 年、それまでの消費者保護基本法が、(④) に改正された。

(④) 第1条〔目的〕 この法律は、消費者と事業者との間の情報の質及び量並びに交渉力等の格差にかんがみ、〔中略...〕消費者の利益の擁護及び増進に関する総合的な施策の推進を図り、もって国民の消費生活の安定及び向上を確保することを目的とする。

- 5 欠陥商品で消費者が被害を受けたときの企業の責任について定められた法律を (⑤) という。

(⑤) 第1条〔目的〕 この法律は、製造物の欠陥により人の生命、身体又は財産に係る被害が生じた場合における製造業者等の損害賠償について定めることにより、被害者の保護を図り、もって国民生活の安定向上と国民経済の健全な発展に寄与することを目的とする。

- 6 契約上のトラブルから消費者を保護するため、2000年に定められた法律を (⑥) という。
- 7 2009年、(⑦) が設置され、それまでさまざまな省庁に分かれていた消費者行政が一元化された。

消費者にはどのような権利があり、どのような保護を受けているのかをおさえておこう。



【解答】

- ① 消費者主権
- ② マルチ取引 (マルチ商法)
- ③ ネガティブ・オプション (送りつけ商法)
- ④ 消費者基本法
- ⑤ 製造物責任法 (PL法)
- ⑥ 消費者契約法
- ⑦ 消費者庁